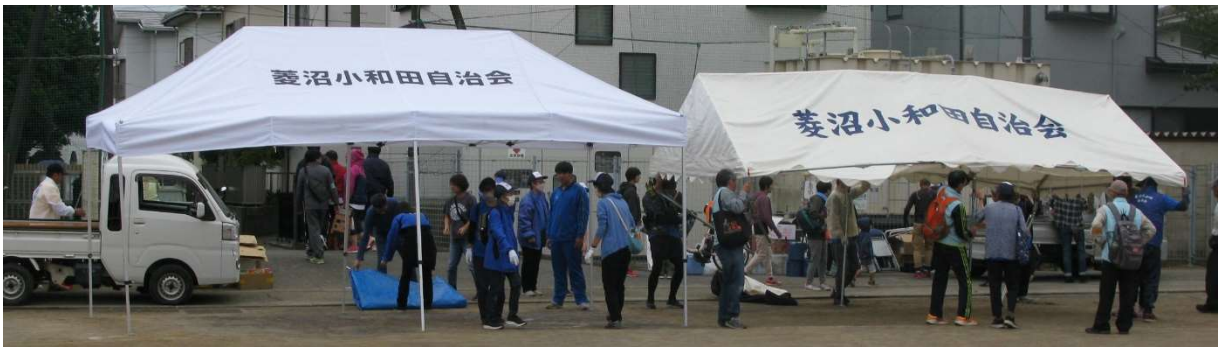
2023(R05).12.05
広報体育部

Before & After

下の写真は何でしょう?



そうです、イベントで活用されている自治会所有のテントです。

今回は、このテントの天幕(当自治会の名前が書かれている、白い布みたいなもの)のお掃除に関する報告です。よく使われるテントですが、これも保守が大事なんです。穴が開いたので補修するとかも保守に入るかもしれませんが、どちらかと言うと予防保守です。

使った後、畳んで保管していますが、湿ったまま畳んで保管したままだとカビが発生するそうです。上の写真は今年 2023(R05)10.08 の松林地区大運動会閉会式後に撮影されたものですが、パラパラ雨が降り出しておりました。それ以降、テントは使われていませんので、上のカビ発生条件；濡れたままで畳む、を十分満足しております。

カビの話を聞いた防犯防災部長の掛け声の元、2023(R05)12.09 有志でテント天幕のお掃除をすることになりました。掃除する日は晴れた日(つまり湿度が低い日)が良いと言われていましたが、幸い晴天に恵まれ、無事作業を終えることができました。

参加された方々、ご苦労様でした。

1. 天幕取り出しの儀

天幕は防災倉庫に保管されています。

天幕は写真の奥に見える白い物体です。これを取り出すためには、その前にある備品類を外に出したり、片づけることが必要です。

2. スマイルパークにて

天幕の掃除はスマイルパークで行いました(そこまで運ぶ必要がありますが)。

天幕 1 を広げています。左はお掃除用のバケツ類。

下の写真は天幕 2。

天幕に水をかけて、汚れを雑巾でふき取るという処理を選択。

雑巾によるふき取り開始。

バケツ内は雑巾をゆすぎ絞ったお水です。

天幕に撒いた水は雑巾でぬぐい切れず、皆で水が流れないように天幕を持って公園の脇まで移動して水を捨て、再度雑巾ふき取りを実施。

公園のフェンスに掛けて乾かします。
このような作業に格好の天候であることが分かるでしょう。

もう一つの天幕は水を掛けずに雑巾ふき取りのみとしました。
水をかけると後の処理が大変になることを学習しました。

こちらの天幕の汚れは水だけでは落ちにくかったのですが、カビ発生の防止に重点を置きました。

こちらも同様にフェンスに掛けて乾燥。

天幕のお掃除って、物が大きいだけに広い場所が必要です。

また、今回はスマイルパークで実施しましたが、広さは左記の写真で分かるように十分なんですが、枯れた芝生面なので、枯れ芝生を取るのに苦労します。

水圧洗浄機を使えば良いのかもしれませんが、結局後から水分のふき取りが必要。

畳む前には乾燥させることが必要ですが、これも条件を備えることが大変。夏の暑い強烈な日差しだと天幕材質んい悪い影響を与えるかもしれず、やはり冬が良いのでしょう。

何か良いアイデアがあれば、教えてください。